

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和 8 年10月 1 日

枚方市立第三中学校

学力調査結果の概要

○国語について

特に成果が見られたのは、言語表現についての問題である。1年生の頃から継続して文法の学習を行っているが、新しいことがらを学習するだけでなく、復習の時間をこまめにとっている。また、四字熟語・ことわざ・慣用句などの知識の定着をはかるためのプリント学習も行っている。これらの繰り返し学習のおかげで、大阪府の結果を上回ることができたのではないかとと思われる。

○数学について

特に関数、データの活用分野で大阪府平均や全国平均を上回る問題が見られた。これは授業の最初に毎回1分テストを行っていて、1・2年の復習問題や前回の授業で学んだ内容の反復練習に取り組んだ成果であると思われる。また、普段の授業において教え合いや考え方などの伝え方などの班学習に取り組んでいるので、わからない問題に直面してもお互いに意見を出し合ったり質問したりして、粘り強く取り組む姿勢を養うことができた結果でもあると思われる。

○英語について

特に成果が見られたのは、「聞くこと」の領域である。普段の教科書本文を学習する授業において、いきなり教科書の本文を見るのではなく、まずは教科書を開かずに耳からの情報だけで内容を想像させたうえで教科書を開かせるといった活動を行っている。よって、リスニング問題すべてにおいて大阪府の結果を上回ったと思われる。

国語において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要（見出し）

単語の活用について理解しているかどうかをみる。

（実際の問題を添付）

三 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
四 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
五 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）

考察

正答率は、大阪府を上回った。日々の授業、あるいは作文指導の際に、間違いやすい内容を提示して注意するよう伝えている。「ら抜き言葉」に関しても、文法的な意味合いから丁寧に指導しているので、今回の結果につながったと思われる。

問題の概要（見出し）

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる。

四 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
五 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
六 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
七 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
八 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
九 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十一 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十二 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十三 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十四 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十五 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十六 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十七 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十八 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
十九 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）
二十 以下の文章を読んで、文中の「あ」がどのような気持ちで話しているか、その理由を、文中の言葉や表現に基
づいて、簡潔に説明せよ。（20点）

考察

正答率は、大阪府・全国ともに上回った。特に物語文の授業では、その表現を使うことによる効果を問うことがある。そのため、この問いに対して悩みすぎることなく、冷静に考えられたのではないと思われる。

数学において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要（見出し） 陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ

- (2) 前ページの陸斗さんの予想がいつでも成り立つことは、選んだ2数について、具体的な数ですべての場合を調べなくても、次のような方針を考えて説明することができます。

方針

- ① 選んだ2数を文字で表し、その文字を用いて、AとBをそれぞれ文字式で表す。
- ② $A+B$ を計算し、の形に変形できることを示せば、陸斗さんの予想がいつでも成り立つといえる。

考察

正答率は大阪府平均、全国平均を上回った。授業の中で、相手が理解できるような説明やどうすれば相手に伝わるのかを、お互いができるように練習している点が成果として表れていると考えられる。

問題の概要（見出し）

累積度数の意味を理解しているかどうかをみる。

- 9 保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することになりました。そこで、全校生徒300人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 二人は、全校生徒の睡眠時間の分布の傾向を調べようと考え、次の表にまとめました。

全校生徒の睡眠時間の度数分布表

階級(時間)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
4 ~ 5	1	
5 ~ 6	14	
6 ~ 7	75	ア
7 ~ 8	126	
8 ~ 9	62	
9 ~ 10	20	
10 ~ 11	2	
合計	300	

全校生徒の睡眠時間の度数分布表の には最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数が入ります。 に当てはまる値を求めなさい。

考察

正答率は大阪府平均、全国平均に対し、本校は大きく上回った。授業の最初に1分テストとして、1・2年の復習問題や授業の振り返り問題を行っている。今回の言葉の意味の理解も、この1分テストで行っている内容である。この取り組みを行うことによって、基礎学力や復習問題を定着させることができていると考えられる。

英語において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要（見出し）

ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する



考察

正解率は大阪府平均、全国平均を上回った。
身近な内容に関するリスニングを毎単元行っており、聞き取る力が向上してきている。また、生徒にとって想像しやすい内容だったことから、正答率が高かったのではないかと考えられる。

問題の概要（見出し）

誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する

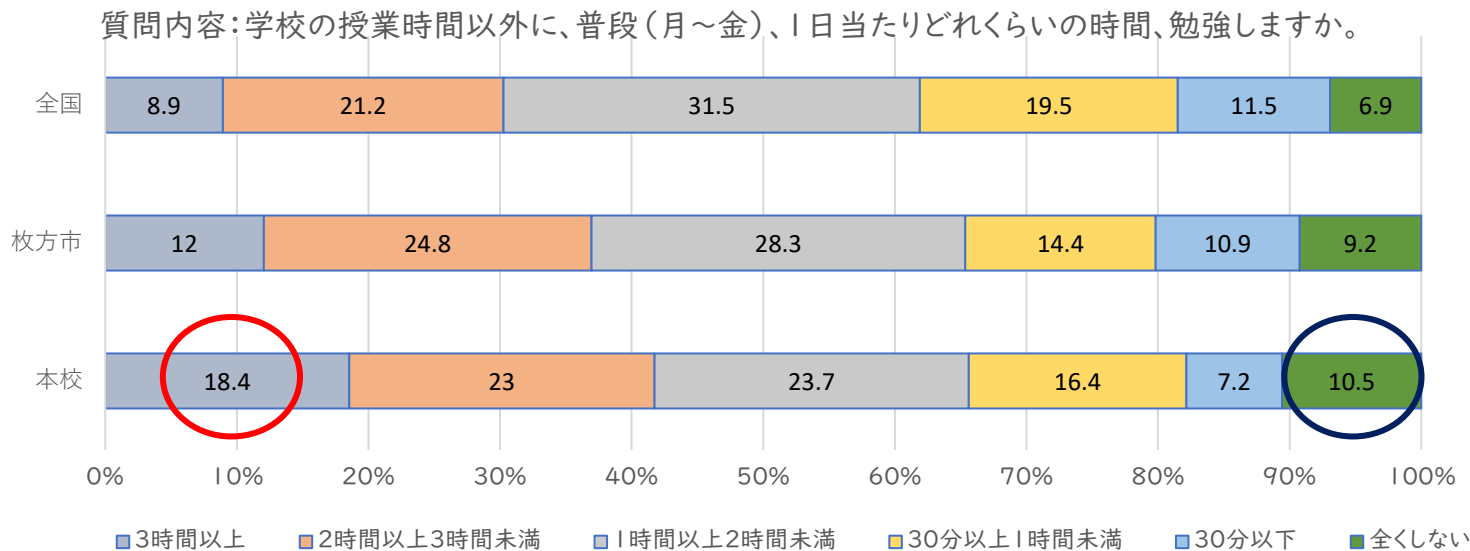


考察

正解率は大阪府平均、全国平均を大きく上回った。
日頃の授業において、問題からキーワードを見つけ、それを文中から探し出すよう指導しているのも、それが結果として現れたと言える。

質問紙調査の結果

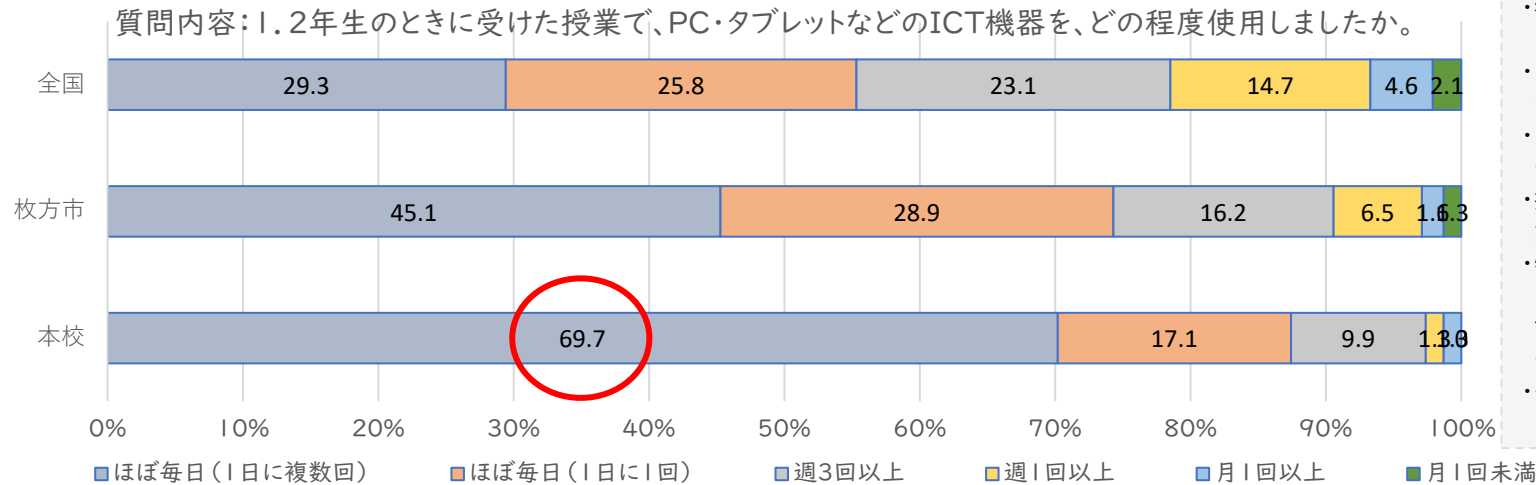
【成果が見られた項目】



（考察）

- ・3年生は、修学旅行やその後の定期テストが開始される時期から、学習について**前向きな姿勢**が見られるようになってきました。
- ・2か月ごとに実施している学力向上アンケートにおいても、家庭学習時間や落ち着いた授業の実践などの項目が上昇し、**授業への積極的な取り組みが家庭学習にも反映**されていることがわかります。
- ・授業では、教員が学習理解を深めるために取り組みのプロセスなどが段階的にわかる、**丁寧な学習プリント**を活用したり、課題解決にむけて、ペアやグループなどの**積極的な生徒間交流**が行われるなど、生徒が興味・関心・意欲を高める工夫が見られます。
- ・家庭学習の課題についても授業で学んだことを振り返ったり、発展させたり、発表につなげるなど、工夫された内容が提示され、**授業と家庭学習をスムーズに連動して取り組むための仕掛け**が実践されています。
- ・定期的に学校全体や学年などで、「自主学習強化キャンペーン」、「提出物やり切るデー」、「テスト前学習会」など、**家庭学習を推進するための生徒主導の啓発活動**なども行われ、少しずつ成果が見えてきました。
- ・しかし、10.5%の生徒が全くしないという課題も見られました。

（考察）

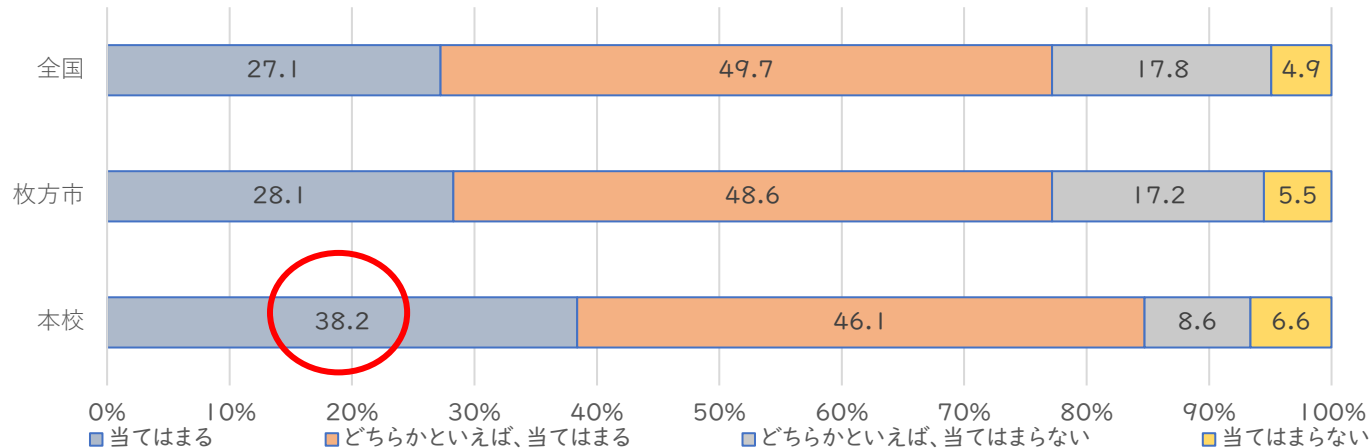


- ・教育活動全体を通して、生徒がタブレットなどの**ICT機器を積極的に活用**していることがわかります。（枚方市全体の傾向とも言えます。）
- ・生徒は授業の中では、タブレットを活用して課題などを調べたり、自分の考えなどをまとめたり、**学んだことを形として反映**させることができています。
- ・タブレットの中に入力された他の生徒の情報を収集したり、交流することで、**自分の考えを広げることができ、わかりやすく伝える**ことも意識できています。
- ・授業の中での学習課題の段階的な習得や提出物の回収などにもタブレットを活用した取り組みが充実してきています。
- ・特に生徒間交流の後に行う、**生徒によるプレゼンテーションに積極的にタブレットが活用**されています。発表の中では、レイアウトなどを工夫して、わかりやすく伝えるなど、情報の見える化が図られ、生徒の興味が高まっていることが分かります。
- ・今後も授業への興味・関心・意欲を高めるため、教員間の交流や研修を深め、**タブレットなどを活用した交流や発表の方法などの工夫改善**を図っていきます。

質問紙調査の結果

【成果が見られた項目】

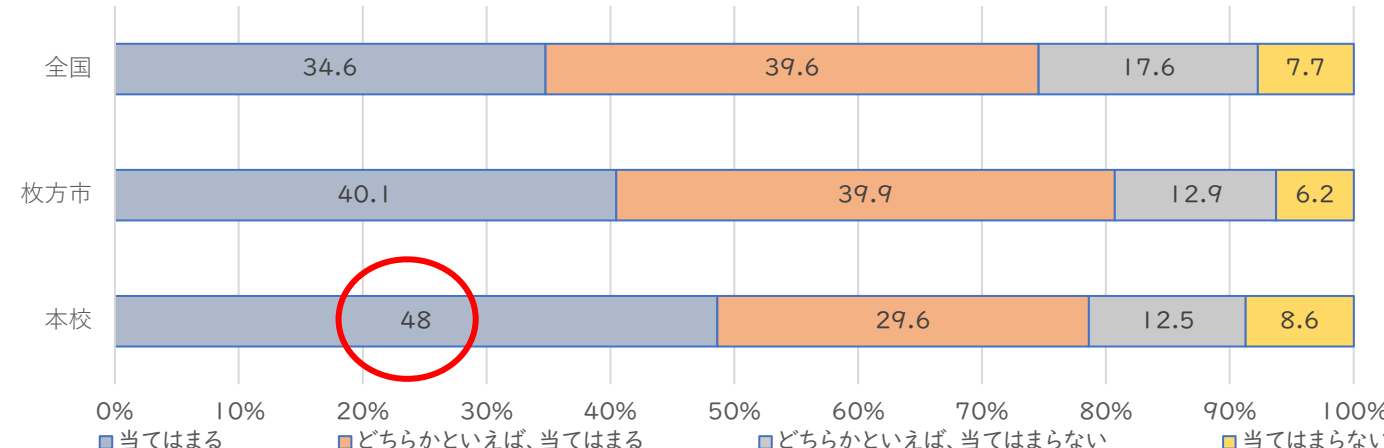
質問内容:国語の授業の内容はよく分かりますか



(考察)

- ・国語の授業では、**学習規律が定着**し、学びの方向性が明確に示され、生徒が興味をもつ**教材の工夫**などが見られます。
- ・教員のきめ細かな指導と生徒の前向きな活動がうまく融合できています。
- ・教員の指導においては、教員が一人ひとりの生徒の取り組みの様子をよく見て、成果（良いところ、前よりできるようになったところなど）と課題（学習のうまくできていないところを指摘し、改善方を検討する）を丁寧に伝え、**個別最適な学びが実践**されています。
- ・生徒の活動では、文章を丁寧に読み取り、課題に対して、根拠を明確にして、しっかりと考えたり、文章の構成などが適切になるように整えるなど、**学習課題にじっくりと向き合う姿勢**が見られます。
- 授業内容については、①音読などの基礎基本の取り組みを毎時間継続して行ったり、②生徒が興味・関心・意欲を高めるための学習プリントを活用したり、③ICTの活用や板書の工夫など、**多岐にわたる活動が楽しく授業に取り組むための基盤**になっていると考えられます。
- ・**生徒主導の活動も推進**され、生徒間の交流活動や発表活動を活性化させるなど、生徒の自尊感情を高めるための仕かけも随所に見られます。

質問内容:数学の授業の内容はよく分かりますか



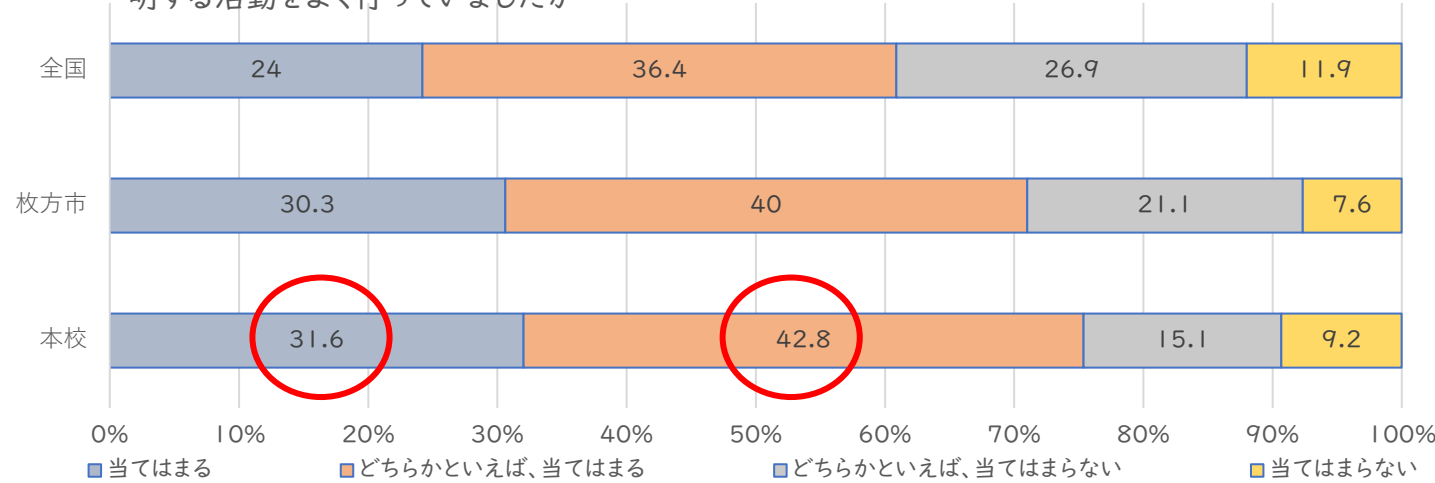
(考察)

- ・数学の授業では、**わかりやすい教材作成**（学習理解の工夫）と**ていねいな個別指導**（個に応じた対応）で生徒の学習意欲を高めています。
- ・授業の冒頭には、**短時間の確認テストが毎時間実施**され、前時の授業で学んだことの振り返りや集中して授業に向き合う姿勢の定着など、学習規律を高めるアプローチが行われています。
- ・教員の説明もていねいで時折、ユーモアなども交えながら、**楽しく学ぶ雰囲気**が定着しています。
- ・学習理解についても一つ一つのプロセスの確認が教員と生徒のやり取りを中心に行われ、**生徒の自己解決をサポート**し、自尊感情を高めています。
- ・**大切なキーワードもしっかりと押さえる**など、学習理解のための仕かけも見られます。
- ・教員と生徒とのやり取りだけでなく、**生徒間の活動（ペア・グループ学習など）も積極的に取り入れて**、交流を通して、自身の視野を広げるなど、新たな気づきも促しています。
- ・説明した内容については、**数多くの問題に取り組ませる**ことで学習理解の定着が図られています。

質問紙調査の結果

【成果が見られた項目】

質問内容：1.2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか



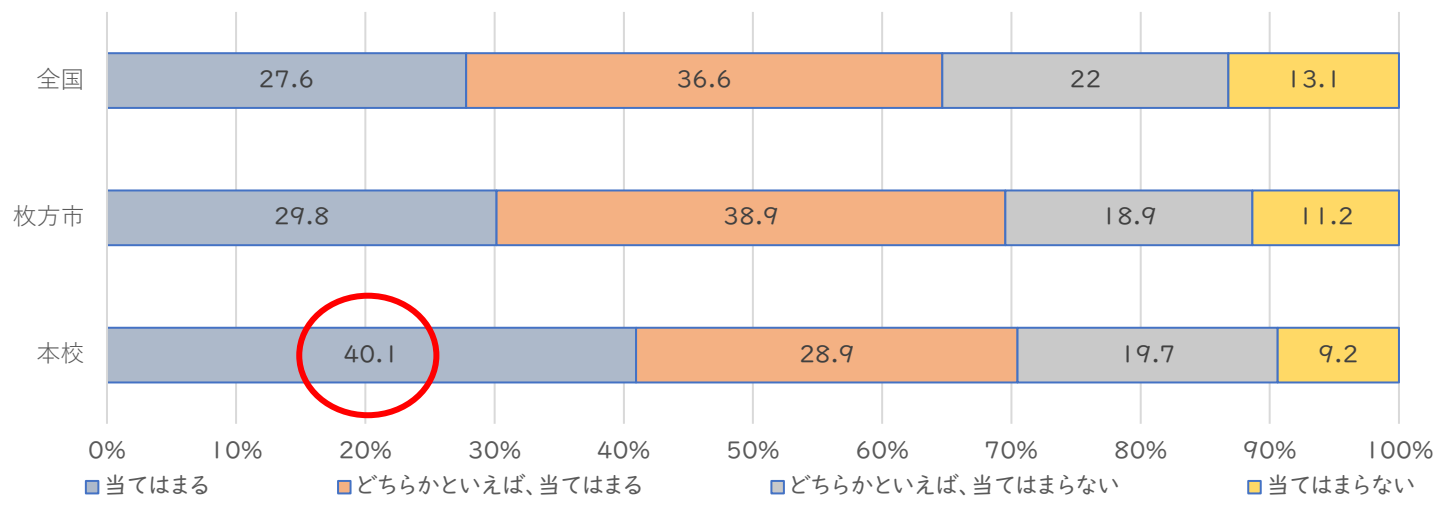
（考察）

- ・数学の授業では、教員と生徒とのやり取りや生徒間の活動などを通して、生徒が課題に対して、じっくりと考える活動が定着しています。
- ・教員の取り組みでは、解答を出すまでのプロセスが段階ごとに丁寧に解説された学習プリントが活用されています。生徒が各プロセスにおいて、じっくりと考える時間を持つことで、スモールステップの視点で着実に力をつけることができています。
- ・解答に向けたキーワードなどもわかりやすく示され、キーワードを活用した学習課題などにも数多く取り組ませることで、生徒が自分の理解度を確認しながら学習活動を進めることができています。
- ・生徒の活動では、自由進度学習が取り入れられ、課題に対して、自分で考えたり、ペアやグループで取り組むなど、自分の考えを他の生徒に説明したり、交流を通して新しいヒントを得るなど、生徒間の活発な活動から、課題解決を図る姿勢が見られます。交流活動を活性化させることで、一人ひとりの生徒がどこかの集団などに所属し、学級全体で課題に向き合う雰囲気が定着しています。
- ・さらに生徒が自ら進み、課題に向き合ったり、交流活動の中で、サブティーチャー的な生徒が多く出現することで、より活発な教えあい活動が期待できます。

（考察）

- ・英語の授業は、2人の教員によるきめ細かな少人数指導が実施されています。
- ◎A教諭について
 - ①明確な指示・テンポ感
 - ・指示が的確で、授業のテンポ感もあり、切り替えが明確です。
 - ②生徒に集中させて、話を聞かせる方策
 - ・張りのある声、身振り手振りを入れた表情豊かな対応で集中力を高めています。
 - ③生徒とのねばり強いコミュニケーションを通じた自己解決の推進
 - ・多くのアプローチを通して、生徒の自己解決を促し、自尊感情を高めています。
 - ④個に応じた丁寧な声かけ
 - ・生徒の取組状況をよく見て、自己解決できるためのアプローチが見られます。
- ◎B教諭について
 - ①生徒の自己解決を促す会話のキャッチボール
 - ・生徒とのねばり強い会話のやり取りなど、自己解決につなげる工夫が見られます。
 - ②生徒の自尊感情を高め、課題解決への意識を高めるための丁寧な個別指導
 - ・生徒の様子をよく見て、進捗状況なども確認し、丁寧にアプローチをしています。
 - ③一つの課題について、多くのアプローチを行うことでの深い学びの定着
 - ・生徒交流、教員とのやり取り、動画の活用など、興味を深める仕かけが見られます。

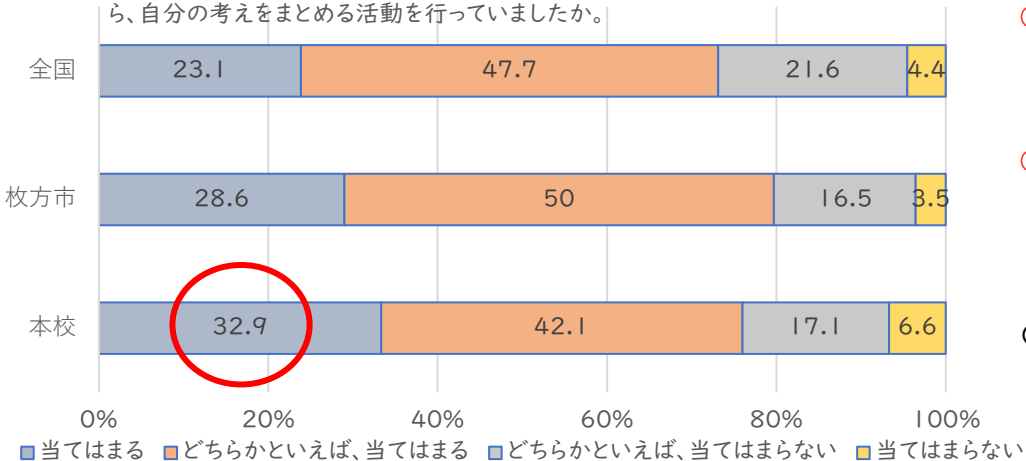
質問内容：英語の授業の内容はよく分かりますか



分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

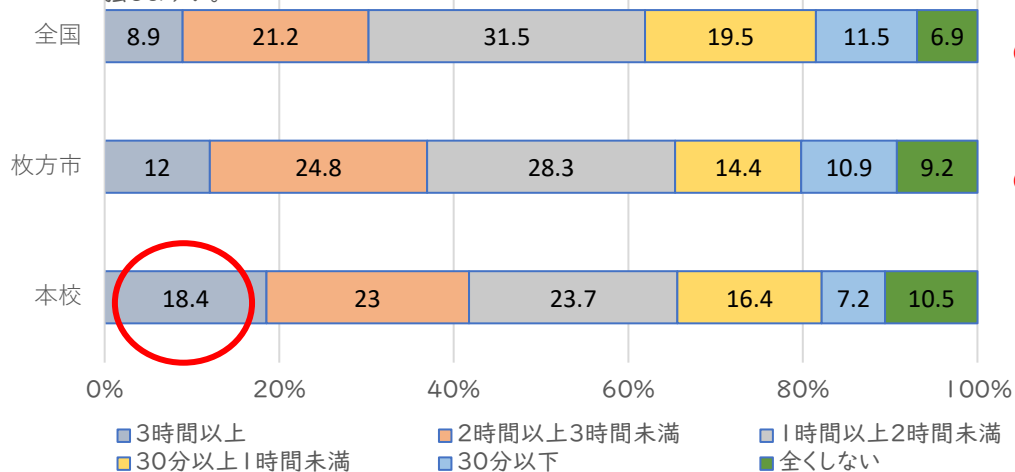
(1) 授業改善について

質問内容:1,2年のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。



(2) 家庭学習について

質問内容:学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。



(1) 授業改善について

☆めざす生徒像「自ら積極的に学ぶ喜びを見だし、小さな成功体験を積み重ねて、目標を達成できる生徒」を育成します。

①「わかる」「できる」を実感し、学ぶ喜びがもてる授業づくり

～「協働的な学び」個別最適な学び」をめざし、生徒が興味・関心・意欲を実感できる授業を推進します～

- ・わかりやすい教材を心がけ、課題に対しての段階的な教材等を提供し、生徒の興味・関心・意欲を高めていきます。
- ・生徒の小さな成功場面を見逃さない賞賛の声かけや課題の共有化などで自尊感情を育成します。
- ・きめ細かな個別指導を行い、生徒一人ひとりに応じた指導の充実を図ります。(生徒による自己解決を目指します)

②仲間と協働して学ぶ授業づくり

～グループ学習を活用して協働的な学びを充実させ、授業内での生徒の共感的な人間関係を育みます～

- ・一人学習、ペア学習、グループ学習など、学習内容に応じて発展的な学習の取り組みを行い、自分で考えたことをグループで交流することで学習への意欲を高めます。(自由進度学習の活用を図ります)
- ・発表を見据えた話し合う活動の充実を図ります。ICTやミニホワイトボードなどを積極的に活用し、学びの見える化を推進します。

③ICT機器を効果的に活用する授業づくり(現在多くの取り組みに活用していますが、さらに推進を図ります)

～一人一台のタブレット端末等のICT機器の有効な活用をさらに行います～

- ・調べ学習による活用(疑問点や興味をもったことをその場で調べ、交流や発表などにつなげる習慣づくりを実践します)
- ・まとめ学習による活用(文章だけでなく、表、図、イラスト、キーワード等の活用による学びの視覚化を図ります)
- ・交流学習による活用(他者との交流や発表などにより、学習の成果と課題などの積極的な活用を図ります)

◎教職員の具体的な活動(学力向上委員会(週一回実施):個別最適で協働的な学びによる資質・能力の向上)

- ・授業の中で、一人ひとりの生徒の小さな成功場面を見逃さず、賞賛の声かけを行います。
- ・全体への課題だけでなく、個に応じた課題設定や進捗状況を見極めた個別指導等を行います。
- ・発表につながる生徒間の交流を活発に行わせ、プレゼンテーション力のさらなる向上を図ります。
- ・各種テスト、アンケート等を活用し、取り組みの成果と課題を検証し、改善方策の見える化を図ります。
- ・授業の成果物等を積極的に掲示したり、発信することで、生徒の達成感、自尊感情を高めます。

「個別最適な学び」:学習レベルに応じた段階的な課題の提示・ICT活用の工夫改善・放課後学習会

「協働的な学び」:個人や班でのプレゼンテーションを前提とした調べ学習、交流活動の実施

(2) 家庭学習について

①家庭学習の定着と工夫改善

～家庭学習を習慣化させるための方策の検討を行います～

- ・家庭学習において、授業で学んだ内容とスムーズに連動するような宿題(課題)等の提供をします。
- ・タブレット端末等のICT機器を有効活用した課題設定を行うことで、学習内容の幅広い活用を図ります。

②家庭学習 啓発のための取組

・自主学習強化キャンペーン

定期的に1週間実施 クラスごとの家庭学習等の時間を集約し、グラフ化し、生徒集会で表彰も行います。

・提出物やり切るDAY

定期的に実施 提出物や学習課題等について、放課後に自主的に参加する。教員指導もあります。

・定期テスト前 学習会

定期テスト前に実施 教科ごとに教室を開放し、自主学習を行う。教員指導もあります。

※「授業改善」「家庭学習」の効果検証について

年5回の学力向上アンケート(5月・7月・10月・12月・2月)により効果検証を行い、校内学力向上委員会において、その都度、指導改善を図っていきます。(別添資料参照)

(1) 授業改善について

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実（ともに学び、ともに育つ）

◎検証と改善策（学力向上アンケート（年5回）において検証する）➡

「個別最適な学び」昨年度「授業がわかりやすい」の肯定的回答

国語93.7% 社会89% 数学93.7% 理科86.3% 英語88.7%→全教科90%以上

改善策：授業内（学習レベルに応じた段階的な課題の提示・ICT活用の工夫改善）

授業外（定期的な放課後学習会等の開催で個のレベルに応じた指導・支援）

「協働的な学び」昨年度「話し合う、発表する、考えを深める活動」の肯定的回答

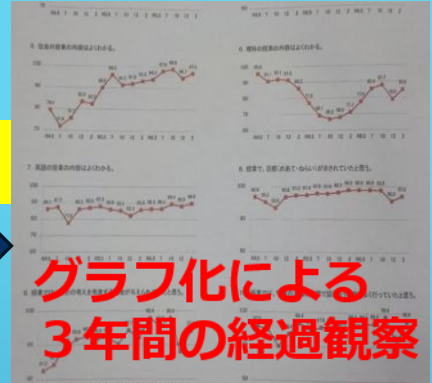
「授業で話しあう活動をよく行っていた」97.3% →さらに向上を目指す

「自分の考えを発表する機会が与えられていた」93.0% →95%以上を目指す

改善策：ホワイトボードやタブレットを活用した交流と発表（キーワードを明確に）

個人や班でのプレゼンテーションを前提とした調べ学習、交流活動の実施

下記は第三中学校で行っている各種教育活動の場面（多くのアプローチの実施）



一人学習



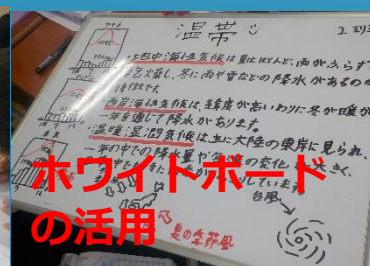
ペア学習



班学習



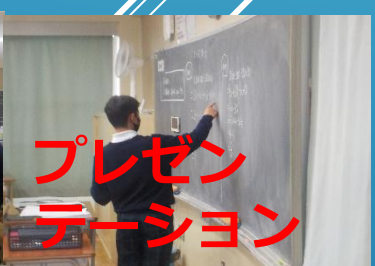
積極的な交流



ホワイトボード
の活用



班の発表



プレゼン
テーション



全体交流



自主的交流



実験活動



挙手・発言



発音・朗読



ICT活用



朝読書

(2) 家庭学習について

① 自主学習強化キャンペーン

定期的に1週間実施 クラスごとの家庭学習等の時間を集約し、グラフ化し、表彰も行う。

② 提出物やり切るDAY

定期的に実施。提出物や学習課題等について、放課後に自主的に参加する。教員指導もあり。

③ 定期テスト前 学習会

定期テスト前に実施。教科ごとに教室を開放し、自主学習を行う。教員指導もあり。

2026年1年生



提出物やり切るDAY

6月開催日時

18日(木) 15:40~16:40

開催場所

1年1組 or 1年2組 or 1年3組

Kuroban+で○がついていない課題がある人は是非参加してください!

質問可能教科

1年1組教室: 数学、国語

1年2組教室: 英語

1年3組教室: 理科、社会

※その他の教科の先生もいます。

1年生 1学期末テスト 勉強会



テスト前、授業や家庭学習を進めていく中で、

「よくわからないー」、「これ、どう解くんだった?」ということはないですか?

今回、勉強会を下記の日程で実施しますので、質問したい内容を用意して、参加しましょう! 君たちの熱意ある参加、待っています!

6/22(月) 15:40~16:40

数学(会場: 1組)

英語(会場: 2組)

理科(会場: 3組)

社会(会場: 4組)

国語(会場: 5組)

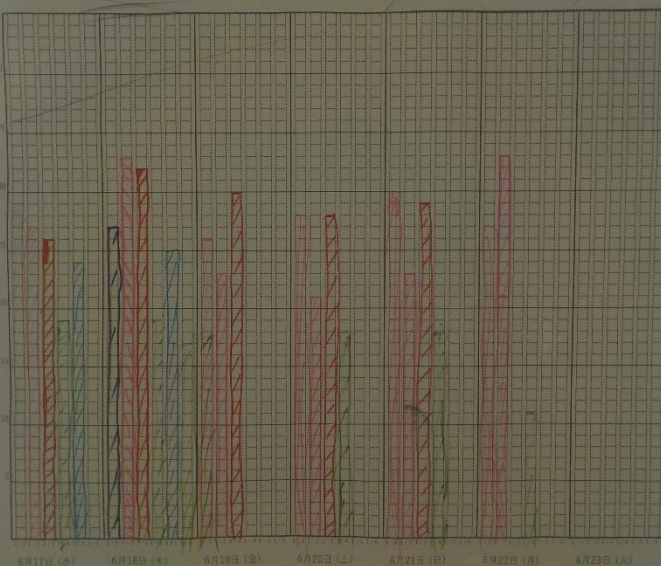
勉強中です



※一人で静かに勉強したい人は6組へ

自主学習強化キャンペーン <人数結果>

学校目標: 4日以上65%、平均70分



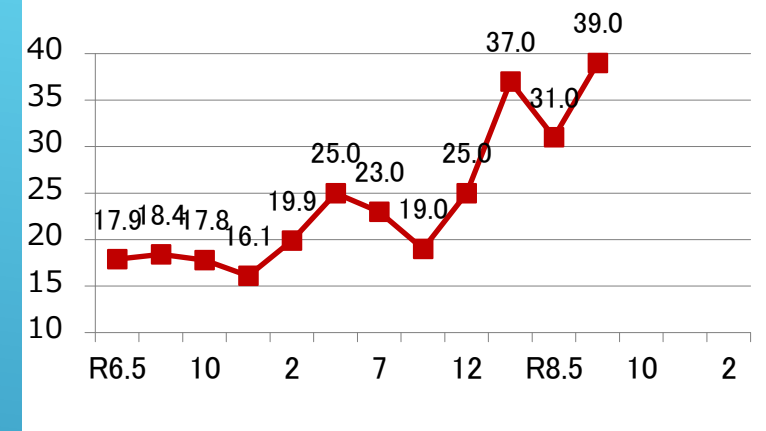
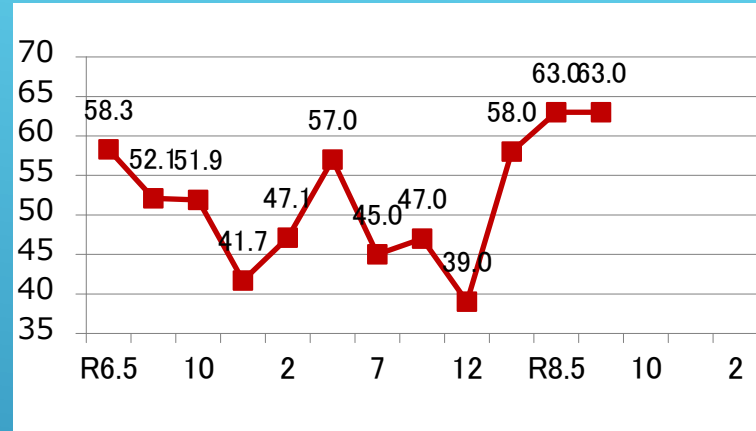
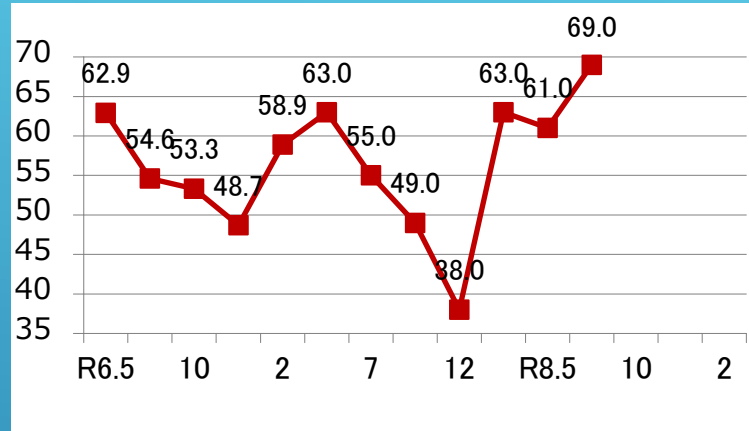
家庭学習習慣について：学力向上アンケート（2か月ごとに実施）の家庭学習に関わる項目について

全学年とも上昇の傾向が見られる！

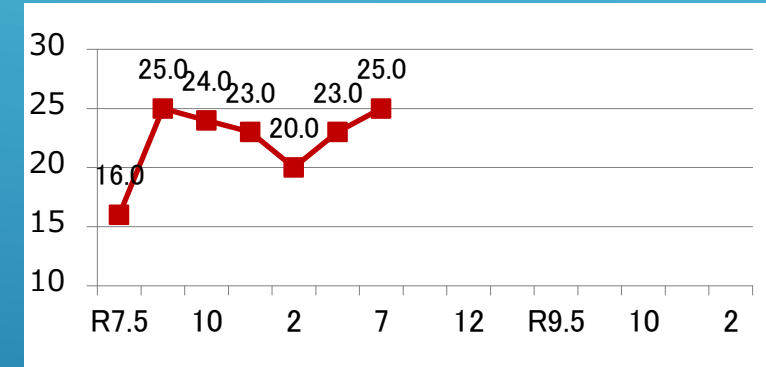
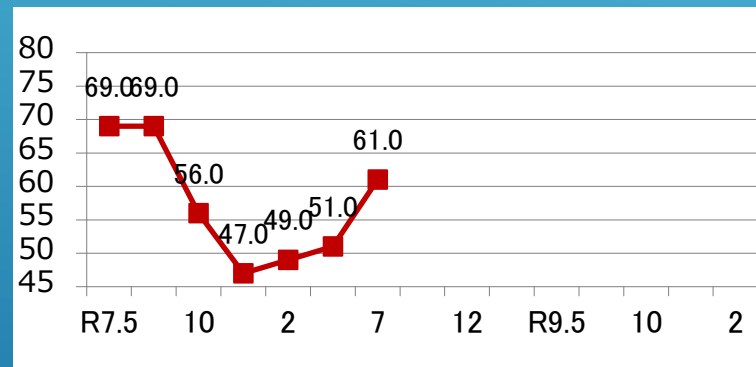
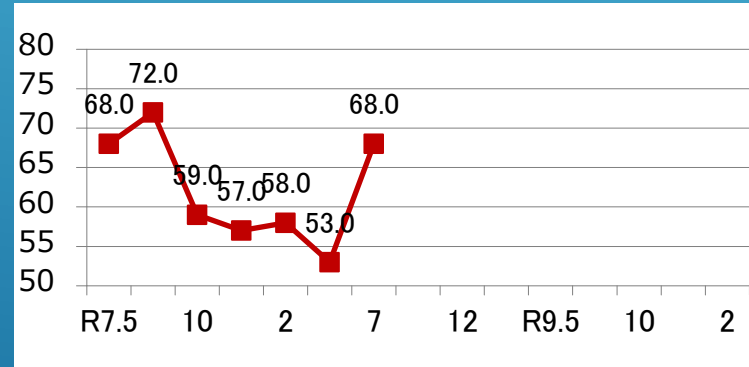
家で、自分で計画を立てて勉強している。 家で、学校の授業の復習をしてる。

月～金で、1日の学習時間
(塾や家庭教師含む)が2時間以上

3年



2年



1年

